

どの政党にも属さず
自由な発想で、ストレートに発言

辻よし子

と歩む会

あきる野市議会議員

「辻よし子と歩む会」通信 21 号 2017 年 4 月 1 日発行

小さな声に耳をすまし、
大きな力にひるまず

「民主主義の学校」
と言われる地方議会。
あきる野から、
今の政治を
変えていきたい!

議会に風穴を！ 市民の力で！！

議会を変える！

議会の大切な役割は、行政のチェックです。
「必要な人に、必要な支援が届いているか？」
「横並び、前例主義、事なかれ主義に^{おちい}陥っていないか？」
「税金のムダづかいはないか？」

それを正確にチェックするのに大切なことは、
「おかしいなあ」と思うことを見逃さないこと、
調査・研究をしっかりとすること、
いつも現場の声を聴くこと。

そのために、これからも
精一杯がんばります！

議員になって1年半。
「おかしいなあ」と思うこ
とを、議会の中で様々、
追及してきました。

そして、もちろん、納得のいく
市の事業に対しては、
応援・協力していきます。

議会を市民の手に！

風穴を大きくし、本当に議会を変えていくには、
市民の力が不可欠です。

まず今、必要なことは、
議会の様子をわかりやすく
市民のみなさんに伝えること。
興味を持ってもらえるような、
中身のある議論をすること。
権威主義をなくし、
開かれた議会にしていくこと。

「よくわかる政治」
「興味のわく政治」
を足元の議会から
一歩ずつ進めて
いきます。

「政治の常識」にしばられず、
当たり前の市民感覚を大切に、議会の中で発言し、
わかりやすい情報をこまめに
発信していきます。

市民の力で一緒に、
議会を、そして政治を変えていきましょう。

「辻よし子と歩む会」 共同代表：柏倉倫子・岩田純子
☎ 190-0154 あきる野市高尾 182-1 佐橋方 電話 & FAX : 042-596-4569
e-mail : kusasigi@nifty.com



(討議資料)

豊かな自然環境を守り、 活気あるまちづくりを

あきる野の魅力は、豊かな自然環境に恵まれた、
やすらぎのある住環境です。

身近に自然があることは、子育て世代にとっては
大きな魅力です。若い世代の声を聞きながら、
遊び場や保育・教育環境など、子育てしやすい
まちづくりを目指します。

農地は作物を育てる場だけではなく、人々の心
を癒し、豊かな環境を守る貴重な自然空間です。
農業を支え、農地を守る手立てを検討します。

個人商店には大型店にはない魅力があります。
商店は、商売を超えたまちづくりの重要な役割を
担ってきました。活気のある商店街を取り戻し、
暮らしの豊かさを再発見していきます。

古い開発計画にしばられて貴重な自然を失うこ
とのないよう、計画の見直しをおこないます。

武蔵引田駅北口の区画整理事業についても、一
旦立ち止まり、あきる野市に見合った整備のあり

方を地権者や市民
と共に考えていき
ます。

辻よし子 のフォト レポート

自転車に乗って、街頭演説。



議会が終わる毎に「だんだんカフェ」を開いて、
議会報告。



2016年夏に、一ツ橋大学で開かれた
「全国政策研究会2016」に参加し、
分科会の報告を。



市内の駅を順番に回り、朝の駅
頭演説。



ホームグラウンドは平井川。生物調査や観察会をおこなっています。
その経験と知識をあきる野市全体の環境保全に活かしていきます。

「市民のプラット・ ホーム*」を作ります

「おまかせ政治」から「市民参加の政治」へ変え
ていくためには、情報と、情報を読み解く力が必
要です。あきる野市の財政、開発計画、子育て支援、
高齢者介護など、暮らしにかかわる市政について、
気軽に参加できる、学びの場を作ります。

「暮らしの中で困っていること」を一人で抱え込
まず、悩みを共有できる場が必要です。一人の悩
みは、社会の問題につながっています。みんなで
解決しようと動くことが、社会のしくみを
変える力になります。

そのために、共に学び、考える「市民の
プラット・ホーム」を作ります。

(*人々のつながりを支える土台という意味)

小さな声、弱い立場 に寄り添う政治を

福島原発事故から6年が経ちました。
政府の進める「復興の加速化」や「原発の
再稼働」は、本当に被災者に寄り添った政
策と言えるでしょうか。年間20ミリシー
ベルトを基準にした帰還政策と原発再稼働
に、引き続き反対の声を上げていきます。

セクシャル・マイノリティ(性的少数者)、
障がい者、シングル・マザーなど、少数者
や社会的に弱い立場にある人たちの声に耳
を傾け、小さな声を政治に届けます。弱者
が暮らしやすい社会はみんなにとっても暮
らしやすい社会のはずです。

日本では、女性の政治
参加が後れています。
女性が政治に参加し
やすい環境づくりに
努めます。

女性議員を増やし、女
性の政治参加を進める
「全国フェミニスト議員
連盟」のセミナーで仙
台へ。数少ない女性の
首長である仙台市長も
参加。(前列左から5番目)



2016年4月に、自治体議員立憲
ネットワークで沖縄へ。
辺野古基地反対を訴える市民運動
リーダーの山城さん(中央)、芥川
賞作家の目取真さん(左)と。
(山城さんは不当に長期拘束されていました)



「アベ政治を許さない」
のアピール。(毎月3日)

戦争への道を 許しません

横田基地へのオスプレイ配備は3年先に延期される予定で
すが、配備そのものを撤回させなければなりません。米軍の
飛行機があきる野市上空を頻繁に旋回している問題等と合わ
せ、市と協力しながら日本政府と米軍に声を上げていきます。

安倍政権は、憲法違反の安保法制を強行採決し、昨年秋、
自衛隊は危険な任務を背負って南スーダンに派遣されました。
「まさか戦争なんて…」と思っているうちに、知らないところ
で戦争は始まり、一見変わらぬ日常の中で、戦争は進んで
いくのです。そうならないために、戦争への道を許さない、
という声を、多くの人たちと共に上げ続けていきます。(毎月
3日 午後1時からあきる野とうきゅう前で「アベ政治を許
さない」のアピールを続けています)



2016年8月に、三多摩議員
ネット(無所属議員のネットワ
ーク)の合宿を戸倉しろやまテラ
スで開催。

辻さんとの出会いは、以前勤めていた学校で子どもたちがお世話になっている「川原で遊ぼう会」の優しいおばさん、隣のクラスの若い担任を支えてくれる協力的な保護者としてでした。

そんな辻さんが市議会議員になって子どもたちに美しい自然を残すために、市民目線の開かれた市議会を作るために、ひたむきに努力する姿は感動的でした！

また、知らないことは懸命に勉強して、みんなに市政の今を伝えようと愚直なまでに頑張る姿を見て、お義理の応援から本気の応援へと変わりました。
(宮本美作子・館谷在住)

辻さんのことをひと言で言い表せば「粘り強い人」だと思います。自然保護活動にも平和や人権、原発事故問題にも、多様なテーマに一つ一つ諦めることなく粘り強く取り組まれてきました。

市議になってからもどんな小さなことでも、疑問に思ったこと、問題があると思ったことはきちんと調べて、質問し改善を求め、着実に議会・市政に反映させてきました。

これからも間違いなく私たちあきる野市民のために力を尽くしてくれる人です。
(小澤祥司・草花在住)

辻よし子と共に歩む市民の声

議員は、私たちの代弁者として、市政が何をしようとしているのか、それが市民にとってどうなのかを点検し、議論し、提案もする責務を負っていると考えます。

また、議員に求められる大事なものは、人権や平和・民主主義を基軸に据えて、市民のために本当に闘っているかだと思います。

辻さんの議会活動を見ると、それらに裏打ちされ、調査・研究を怠らず勇気をもって果敢に闘っている姿は、とても頼もしいです。応援します。
(菅原宣夫・山田在住)

私達の生活は、「強い」日本によって守られるのでしょうか？ 私は、市民が主体的に平穏な日常を積み重ねていくことこそ、戦争や、災害時のパニックを遠ざける方法だと心から思います。辻さんはそうした市民の声を聞き逃さず、その求めを的確に実行する人です。

辻さんは市民と繋がり、今までの「難しくてよくわからない決め事だらけの政治」を、「わかりやすく、ちょっと意見を言ってみようかなと思える政治」に変えていっています。政治は私たち市民のものです。辻さんを応援します！
(武田初芽・小川在住)

辻よし子のプロフィール

1960年生まれ。大学で生物学を専攻し、環境問題に関わる。その後、教育学を学び、小学校教員を経た後、タイの農村教育にボランティアとして関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。2015年10月の市議会議員補欠選挙で1万票以上の支持を得て当選。議会では一人会派「くさしぎ」として活動中。現在、夫、大2・高1の息子、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」会員募集中！
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名 辻よし子と歩む会
口座番号
00140-9-430053
ゆうちょ銀行
（店番）〇一九（ゼロイチキユウ）
店（019）
当座 0430053

